

国際芸術祭「あいち 2022」ラーニング・プログラム
愛知と世界を知るためのリサーチ

しょうじょう
『猩々大発生』猩々コレクティブの参加者を募集します。

国際芸術祭「あいち 2022」では、幅広い層を対象とした様々なラーニング・プログラムを順次、実施します。

ラーニングの参加プログラム「愛知と世界を知るためのリサーチ」は、愛知にまつわる様々な事柄をテーマに取り上げ、我々が現在立っている場所について明らかにしながら、「世界とは何か」という謎に迫るリサーチをベースにしたプログラムです。

このプログラムでは、アーティスト等がリサーチリーダーとなり、公募による参加者たちとフィールドワークなどの活動を通して、様々な視点から愛知を発見するプロジェクトを実施します。

この度、ラーニング・キュレーターで、アーティストの山本高之を中心とした「猩々コレクティブ（※）」を結成し、愛知県の南部の一地域のお祭りに登場する大人形「猩々」に焦点をあてたプロジェクトを実施します。下記のとおり参加者を募集しますのでお知らせします。

※「猩々コレクティブ」は、本プロジェクト「猩々大発生」に参加するメンバーの総称です。

記

1 『猩々大発生』について

本プロジェクトでは、猩々とはどのような存在なのかをリサーチしたり、実際に猩々を制作して「あいち 2022」会期中に展示したり、制作した猩々を使ってイベントを企画・実施するなど、様々なプログラムを展開していきます。

「あいち 2022」開催期間中、愛知芸術文化センターにたくさんの猩々が現れる！ 芸術祭を地元のお祭りのようにしてしまう！ 猩々になって、芸術祭を見てみることで、芸術祭の来場者も巻き込んだ壮大なお祭り騒ぎに！

2 猩々コレクティブの活動内容について

(1) 猩々についてのリサーチ

猩々とはどのような存在なのか、歴史や社会の中での扱われ方を、文献や資料などからひも解きます。修復や制作を行う専門家や研究者に、直接お話をお伺いするなどの活動を予定しています。

(2) 猩々をつくる

猩々を知るために、アートラボあいち（名古屋市中区丸の内三丁目4-13 愛知県庁大津橋分室2・3階）で実際に制作します。また、愛知県内の児童館と共に実施する猩々制作

プログラムのサポートを行います。

(3) 猩々を使ったイベントの企画や実施

猩々を使ったイベントを企画し、「あいち 2022」開催期間中に実施します。

3 猩々コレクティブの参加者募集について

「猩々」に興味がある方、自分が住む地域の歴史を学んでみたい方、作ることが好きな方を対象として、「猩々コレクティブ」に御参加いただける方を募集します。また、プロジェクト説明会を開催します。(説明会への出席は必須ではありません。)

(1) プロジェクト説明会

「猩々」とは何か、また猩々コレクティブとして何をやっていくのかなどをお話します。

日 時：2022年3月21日(月・祝)

午後2時から午後3時30分まで

会 場：アートラボあいち

(名古屋市中区丸の内三丁目4-13 愛知県庁大津橋分室2・3階)

申 込：不要

参加費：無料

定 員：30名(当日先着順)

※新型コロナウイルス感染症の状況により、予定を変更する場合があります。

※来館にあたっては、アートラボあいちの新型コロナウイルス感染拡大防止対策
<<https://aichitriennale.jp/ala/news/2020/004463.html>>にご協力ください。

(2) 猩々コレクティブへの申込方法

次の事項を記載し、参加同意書を添付の上、国際芸術祭「あいち 2022」ラーニングメールアドレス(learning@aichitriennale.jp)にお申込みください。

・氏名(ふりがな)

・住所

・電話番号

・メールアドレス

・参加希望理由

・参加同意書を添付(同意書は公式ウェブサイト 本プロジェクト掲載ページ
(<https://aichitriennale.jp/learning/2022/004753.html>)からダウンロード可)
メール件名は「猩々コレクティブ 参加申込み」と記入してください。

申込み締切：3月25日(金)正午

※申込み締切後、順次活動についてのお知らせをメールでお送りします。

※説明会に参加していなくても申込み可能です。

(3) 注意事項

- ・本プロジェクト参加の際に発生する交通費等の諸経費は各自で御負担ください。
- ・活動の様子を写真や動画などで記録します。記録した写真や動画は、御本人の同意のもと、国際芸術祭「あいち 2022」の広報物や報告書等で使用する場合があります。
- ・参加にあたっては、参加者を被保険者とした団体傷害保険に、国際芸術祭「あいち」組織委員会において加入します。
- ・2022年4月1日時点で18歳未満の方は、保護者の同意が必要となります。
- ・メンバーとの連絡調整にメール、LINE等の通信ツールを使用する予定です。各自、利用可能な環境を御準備ください。

4 主催等

主催：国際芸術祭「あいち」組織委員会

共催：愛知県児童総合センター

5 問合せ先

国際芸術祭「あいち」組織委員会事務局（金田、遠藤）

（愛知県県民文化局文化芸術課国際芸術祭推進室内）

住 所 〒461-8525 名古屋市東区東桜一丁目 13-2 愛知芸術文化センター内

電 話 052-971-3111 FAX：052-971-6115

URL <https://aichitriennale.jp/>

猩々とは

妖怪や能の演目として有名で、顔は人間、体は獣の人語を解する化け物。酒が好きで、酒樽一個飲み干すと言われている。能では赤い能装束を着て、お酒をのみ舞い踊る、海中に住むものと紹介されている。これらのことから、酒にまつわるものや、赤色に縁が深い。

愛知県の名古屋市緑区（鳴海、有松）や南区（笠寺）、東海市、大府市、豊明市などの地域では、主に秋に開催される祭礼において登場する大人形のことを指し、1757年の文献の中に、鳴海村のお祭りの行列に猩々が並んでいたと書かれているのが最初とされている。

頭部は張り子、肩から腰までを竹で組み、羽織を着せたものを、人がかぶる。ちょうど、猩々の胸部から腹部のあたりに、中の人顔がくるようになるので、大人が被ると2mほどの大きさとなる。地域や時代によって、扱われ方は異なるが、猩々はお祭りで練り歩きながら、参列した子どもたちを追いかけ、手に持つ棒で叩いたり撫でたりすることで、無病息災を願うものとされている。



笠寺猩々保存会の猩々

【参考】

国際芸術祭「あいち 2022」ラーニング・プログラムについて

○参加プログラム

一般を対象とした公開プログラム

- ・アーティストによる美術史講座
- ・「芸術祭」をひも解く：近代化と万博-オリンピック-芸術祭
- ・社会とアートと自分をつなぐプラクティス「勝手に測る、挟まる、抜け出す」
- ・愛知と世界を知るためのリサーチ 他

○スクール・プログラム

学校関係者（児童生徒・教員等）を対象としたプログラム

○ボランティア・プログラム

対話型鑑賞のファシリテーターや会場案内などのボランティア育成のためのプログラム

「愛知と世界を知るためのリサーチ」とは

ラーニングの参加プログラム「愛知と世界を知るためのリサーチ」は、芸術祭の開催地である愛知という土地にまつわる様々な事柄をテーマに取り上げ、我々が現在立っている場所について明らかにしながら、「世界とは何か」という謎に迫るリサーチをベースとしたプログラムです。

その一つ①『監督と学ぶ』は、「あいち 2022」の監督・片岡真実が、今回の開催会場となる地域を中心に、専門家や地域の方々をゲストに迎え、対談形式で歴史・文化・産業などを学んでいくシリーズで、動画を公開していきます。

二つ目以降は、アーティスト等がリーダーとなって、様々な視点で愛知を発見していくプロジェクトを実施します。リサーチリーダーと公募による参加者たちが、フィールドワーク、ワークショップ等、グループごとのテーマに沿って自由な形式で活動を展開し、「あいち 2022」の開催期間中にその成果を発表します。

詳しくは各プロジェクトのウェブページをご確認ください。